

指導の改善

平成25年2月1日に行われた香取市で実施した標準学力調査をもとに、市内の小中学校31校では以下の2点を重点課題として、平成25年度は取り組んでいます。

活用力を育てていく！

小中学校共通で、**様々な情報の中から必要な情報を選び出したり、情報を活用したりする力**を育てていきます。

家庭学習の指導に力を入れて基礎学力の定着を

家庭学習にも力を入れ、**子ども達の基礎学力の定着**に向け指導をしていきます。

全国学力学習状況調査でも、さらに多くの課題がわかり、各学校では、この2つの調査結果をもとに学力の向上に向けた指導の工夫と改善を行っていきます。

小学校

【 国語 】

- 漢字を書くこと、文が句点によって区切られることの意味など、5年生までに習得しておくべき基礎的・基本的な知識・技能の定着に向けて、繰り返し学習することや様々な場面で実際に活用するなど指導を工夫していきます。
- 学習活動の中で、国語辞典・ことわざ辞典などの辞典の活用を日常化できようにしたり、学習したことを日常生活の中でも積極的に活用したりできるような指導の工夫をしていきます。
- 各教科や総合的な学習の時間など、調べたことを発表する機会をとらえ、児童が相手の立場や状況を踏まえ、適切かつ効果的に助言ができるような指導を工夫します。
- 書くことと読むこととの関連を図りながら、意見を述べた文章や活動を報告する文章などを目的に応じて編集する指導を工夫します。

【 共通 】

- 読書活動のさらなる充実を図るとともに、国語の指導として、様々な文章や長い文章を読む習慣を身に付ける授業をより効果的に行っていきます。

中学校

【 国語 】

- 目的や意図に応じて必要な情報を取捨選択する力を育むために、新聞やパンフレット、ガイドブックなど、さまざまな形態の文章の特徴を捉えて読んだり、複数の資料を関連付けて読んだりする学習活動を工夫していきます。

【 算数 】

- 複数の条件を考慮して筋道を立てて考える学習を取り入れ、問題の解決に必要な情報を選択する力を育む授業づくりをしていきます。
- 場面の状況や操作の意味に基づいて、式を的確に読むことができるように、式と図や表を適切に対応させて確認する授業の工夫をします。

【 共通 】

- 千葉県で作成した「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムを活用して、児童生徒の思考力・判断力・表現力等を高め、児童生徒の学力向上につながる指導をしていきます。
- 問題に対して回答できない児童生徒を分析すると、「問題をとらえる力」が乏しいことがわかりました。問題文にある条件を整理し、問題文の意味を的確にとらえさせ、問題場面を具体的にイメージして図や絵に表す活動など、解決の見通しをもたせる学習活動の工夫をしていきます。

【 数学 】

- 数量の関係を文字式で表すことや多角形の外角の意味を理解すること等、中学校2年生までに習得しておくべき基礎的・基本的な知識・技能の定着に向けて、繰り返し学習することや様々な場面で実際に活用するなど指導を工夫していきます。また、書くこと・できることで満足するのではなく、その根拠に着目させた指導を行います。
- 事象を多面的にみることができるようにするために、問題解決に必要となる視点を明らかにし、それをもとに事象を考察し直し、様々な事柄を見出すとともに、見出した事柄をもとに事象で成り立つ様々な性質や関係を捉える活動を学習活動の中に取り入れていきます。

【 生活習慣他 】

- 家庭生活について、特に、小学校はテレビやビデオ、DVD の視聴について、家庭への啓発を十分に行っていきます。
- 自分で計画を立てて家庭学習をする習慣づくりに、家庭と連携して取り組みます。

【 千葉県教育委員会 家庭学習のすすめ 】

千葉県教育委員会では、家庭学習の充実をめざし、さまざまな視点から自らの学びを築くためのヒントをホームページに掲載しています。

対象は、小学校に通う児童や保護者の方々、そして小学校の先生方です。

ぜひ、下の URL をクリックして、ご家庭で、学校でご活用ください。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/2011/kateigakus.html>